

理療科の方のための論文の探し方講習会資料テキスト版_目次

1. なぜ文献を探すのか(補足資料2枚目).....	3
2. 論文を書く時には(補足資料3枚目).....	3
3. 文献を探す方法(補足資料4枚目).....	4
4. Google Scholar(グーグルスカラー)とは(補足資料5枚目).....	4
4-1. Google Scholar へのアクセス(補足資料6枚目).....	5
4-2. Google Scholar 操作手順概略(補足資料6から7枚目).....	5
4-3. 検索条件の入力の仕方(補足資料8枚目).....	6
5. 覚えておきたい検索テクニック.....	7
5-1.類義語を探す(補足資料9枚目).....	7
5-2.キーワードの範囲を広くしたり狭くしたりする(補足資料9枚目).....	7
5-3.いろいろな検索(補足資料10枚目).....	8
6. いろいろな検索データベースの紹介(補足資料11から12枚目).....	11
6-1. Tulips Search(チューリップスサーチ)(筑波大学附属図書館ホームページ)(補足資料13枚目) ..	11
6-2. CiNii Research(サイニイ リサーチ)(日本語論文データベース)(補足資料14枚目).....	12
6-3. 医学中央雑誌(医中誌 Web)(補足資料15枚目).....	13
6-4. PubMed(パブメド)(外国語医学論文データベース)(補足資料16枚目).....	14
7. 検索データベースを使う.....	15
7-1. Tulips Search.....	15
7-1-1. Tulips Search へのアクセス(補足資料18枚目).....	15
7-1-2. Tulips Search での検索(補足資料19から20枚目).....	17
7-2. CiNii Research.....	19
7-2-1. CiNii Research へのアクセス(補足資料22から23枚目).....	19

7-2-2. CiNii Research での検索(補足資料23 から27 枚目)	2 0
7-2-3. Tulips Linker(補足資料28 から 29 枚目)	2 2
7-2-4. Web で他大学所蔵の論文コピーの取り寄せを依頼したい時の操作手順概略(補足資料28 から32 枚目).....	2 2
7-3. 医中誌 Web.....	2 3
7-3-1. 医中誌 Web へのアクセス(補足資料 33 から34 枚目)	2 3
7-3-2. 医中誌 Web での検索(補足資料35 から37 枚目)	2 4
7-3-3. 医中誌 Web の便利な機能(補足資料39から42枚目).....	2 6
7-4. PubMed.....	2 7
7-4-1. PubMed へのアクセス(補足資料42 から43 枚目).....	2 7
7-4-2. PubMed での検索(補足資料45から46枚目).....	2 8
7-4-3. PubMed の便利な機能.....	3 0
8. 文献管理ソフト RefWorks(レフワークス)(補足資料46 から49 枚目)	
.....	3 2
8-1. RefWorks へのアクセス(補足資料48 枚目).....	3 2
8-2. RefWorks にデータを取り込みたい時の操作手順概略(補足資料 49 枚目).....	3 4
9. おわりに(補足資料50 から52 枚目).....	3 5

理療科の方のための論文の探し方講習会資料テキスト版

1. なぜ文献を探すのか(補足資料2枚目)

まず「なぜ文献(論文)を探す必要があるのか」ということについて、確認をします。

論文は、自分の感じたことや意見をそのまま述べてもよい感想文とは異なります。事実や理論に基づいて客観的根拠をあげながら、自分の意見を説明し、読み手を説得する文章です。この「客観的根拠」となるのが、先行研究(文献)や実験データです。

論文を書くためには、先行研究の文献を調べることが必要不可欠です。

2. 論文を書く時には(補足資料3枚目)

論文を書くときは、次のことを絶対にやってはいけません。

- 剽窃(ひょうせつ):他人の文章・語句・説などを盗んで使うこと
- 盗用:他人のものをこっそり盗んで使うこと

剽窃も盗用も、他人の意見をあたかも自分の意見であるかのように使うことを意味します。論文を書くときは先行研究を引用しますが、他人が読んでもわかる形で、自分の意見と他人の意見をしっかり区別して書くことが重要です。単なるコピー&ペーストをしてはいけません。

論文の書き方には、次にあげるように、いろいろなルールがあります。

- 一定の形で引用をすること
- 参考文献リストで出典を明示すること など

これらのルールに従うことで、「赤の他人が読んでもわかる形」の論文を書く

ことができます。論文を書くときのルールは研究分野によって異なるので、自分の研究分野のルールを事前に調べる必要があります。

3. 文献を探す方法(補足資料4枚目)

文献を探すには、例えば、次の3つのような方法があります。

- 研究テーマに詳しい先生におすすみをきく
- 読んだ本や論文の参考・引用文献リストから見つける
- 文献データベースで検索する

このほかにも様々な方法があるので、自分に合った文献を探す方法を見つけてみてください。

4. Google Scholar(グーグルスカラー)とは(補足資料5枚目)

今回の講習会では、文献を検索するためのデータベースの使い方を紹介していきます。最初に紹介するのは、Google Scholarです。

Google ScholarとはGoogleが提供する学術情報に特化した検索サービスです。どんな人でも無料で使うことができます。

Google Scholarの特徴は次の通りです。

- 学術論文を探すのに適している
- オンラインで読める論文を探すのに適している
- 専門分野の論文を探すには不向き

長所:

- 筑波大学外、自宅などからでも利用可能
- 読み上げソフトにわりと対応している

短所:

- Google Scholarで本文を見つけられない論文を、図書館で読むことができるかわからない。具体的には…
 - ◆ Google Scholarで本文を見つけられなかった論文を掲載している雑誌が、図書館で所蔵されているかどうか
 - ◆ Google Scholarで本文を見つけられなかった論文は、筑波大学で契約している電子ジャーナルを利用すれば読むことができるのか

Google Scholarだけではこれらのことがわからないので、論文を入手するためには、蔵書検索やTulips Searchも利用する必要があります。

4-1. Google Scholar へのアクセス(補足資料6枚目)

Google Scholar へアクセスします。

Google などブラウザの検索機能を使って、「Google Scholar」と入力して検索してみてください。検索結果の上位に“Google Scholar”がヒットします。クリックして表示させてください。中央に Google Scholar のロゴと、そのすぐ下にキーワード入力欄があるページが表示されます。これが、Google Scholar のトップページです。

4-2. Google Scholar 操作手順概略(補足資料6から7枚目)

Google Scholar 操作手順の概略を説明します。

- ① 画面中央のキーワード入力欄に、検索したい言葉を入力します。
- ② Enterキーを押すか、キーワード入力欄右の虫眼鏡のボタンをクリック

クします。

- ③ 検索条件を満たす論文や図書等の一覧が表示されます。論文名等がリンクになっており、これをクリックすると、その論文等の詳細情報が表示されているページが表示されます。論文によっては、オンラインで読める論文本文が掲載されていることがあります。

次に、検索結果の絞り込みについて説明します。

検索結果一覧の左側のメニューの最上段は、初期設定では「期間指定なし」と書かれています。その次の行の「2025年以降」「2024年以降」「2021年以降」などをクリックすると、画面右側の検索結果件数が絞り込まれて少なくなります。目的の年代が選択肢にない場合は、「期間を指定…」をクリックします。数字を入力できるテキストボックスが表示されるので、「2000 - 2010」など目的の年代を入力し、その後検索ボタンをクリックします。

期間による絞り込みを行うエリアの二段下には、言語による絞り込みを行うエリアがあります。「すべての言語」のほかに「日本語のページを検索」という選択項目があり、これを選ぶと検索結果を日本語で書かれたページのみに絞り込むことができます。

検索結果が多すぎると感じたときは、より条件に合うものを探すために、絞り込みを活用しましょう。

4-3. 検索条件の入力の仕方(補足資料8枚目)

Google Scholar では、論文名や著者名、興味のある単語などをキーワードにして検索をすることができます。

例えば、「Langevinという研究者が書いた 経穴 (acupuncture point)に関する英語の論文を探したい」という場合には、入力欄に「らんじゅばん アキュパンクチャー ポイントLangevin acupuncture point」と入力して検索します。

複数の条件を入力する場合は、スペースで区切って入力をしてください。

5. 覚えておきたい検索テクニック

5-1. 類義語を探す(補足資料9枚目)

検索結果が少なすぎると感じたときは、検索キーワードを他の類義語に言い換えられないか考えましょう。

例えば、「こむらがえり」という言葉の類義語を挙げてみます。

- 有痛性筋けいれん(医学用語)
- 腓腹筋けいれん(医学系論文で使われる語)
- 有痛性筋れん縮(医学系論文で使われる語)

これらのキーワードで検索をすると、「こむらがえり」で検索をした時とは違った検索結果になります。また、英語の論文を検索したい時には、「こむらクランプがえり」を表す英単語「Cramp」をキーワードにします。

5-2. キーワードの範囲を広くしたり狭くしたりする(補足資料9枚目)

キーワードの範囲を広くしたり狭めたりすることで、検索結果を増やしたり減らしたりすることができます。

例えば、「日本の鍼灸治療」について調べたい場合、まずは「日本 鍼灸治

療」というキーワードで検索します。

検索結果件数が少ないと感じた場合は、キーワードの範囲を広げてみます。例えば「日本」ではなくさらに広範囲の地域を表す「アジア」に置き換え、「アジア 鍼灸治療」で検索すると、中国・韓国などと一緒に日本の鍼灸治療に触れている論文がある可能性があります。

反対に検索結果件数が多いと感じた場合は、キーワードの範囲を狭めてみます。国名である「日本」ではなく、都市名「東京」や「大阪」などに置き換え、「東京 鍼灸治療」で検索すると、検索結果が減って探しやすくなるでしょう。

5-3.いろいろな検索(補足資料10枚目)

キーワードの置き換えではなく、キーワードの指定方法によっていろいろな検索をすることができます。ここではAND検索、OR検索、NOT検索、フレーズ検索を紹介します。

● AND検索

入力したキーワード全てを含むものを検索します。

例えば、「ツボ けいけつ 経穴」のようにスペースで区切ると、「ツボ」と「経穴」というキーワードの両方を含む検索ができます。このときGoogle Scholarでは自動的に“「ツボ」AND「経穴」”という検索を行っています。

● OR検索

複数入力したキーワードのうち、どちらか(どれか)を含む検索です。

例えば、「ツボ OR 経穴」のように、キーワードの間に「スペース」「半角大文字のOR」「スペース」を入力します。この場合、「ツボ」または「経穴」のどちらかのキーワードを含む検索ができます。複数のうちどれかが含まれていればよいので、基本的には同じキーワードを使ったAND検索よりも検索結果が多くなります。検索結果が少なすぎると感じたときに有効な検索方法です。

しかし、「シオミズツボワムシの高密度培養」のような検索したいものとは全く関係のない論文もヒットしてしまうことがあります。この場合「ツボ」と「経穴」のうち、「ツボ」が「シオミズツボワムシ」という単語に入っているため、ヒットしてしまうのです。

● NOT検索

複数のキーワードを入力し、特定のキーワードを含まないようにする検索です。

例えば、「ツボ ^{マイナス} - 経穴」のように、検索したいキーワードの後に「スペース」「半角マイナス記号」を入力し、マイナス記号の後に含めたくないキーワードを入力します。

この例の場合は、「ツボ」を含むが「経穴」を含まない検索ができます。

このときGoogle Scholarでは自動的に“「ツボ」NOT「経穴」”という検索が行われています。実際に検索してみると、「シオミズツボワムシ」に関する論文や「針灸刺激の末梢受容機序とツボの関連」などという論文がヒットしました。「ツボ」というキーワードは含まれていますが、「経穴」というキーワードは含まれていません。

● フレーズ検索

熟語や文章をそのまま検索したい時に役立つ検索です。

ア キ ュ パ ン ク チ ャ ー ポ イ ン ト

例えば、「“acupuncture point”」のようにフレーズで検索したいキーワードを“”（ダブルクォーテーション）でくくります。

ア キ ュ パ ン ク チ ャ ー ポ イ ン ト チ ャ ー ツ

この例で検索を行うと、「Acupuncture Point Charts」は検索されますが、「Healing Point Acupuncture Clinic」は検索されません。「“acupuncture point”」という単語をひとつの塊として検索するからです。「Acupuncture Point Charts」は「“acupuncture point”」+「Charts」ということになります。「Healing Point Acupuncture Clinic」では、「“acupuncture”」と「“point”」が離れて、本来検索したい「“acupuncture point”」とは違う単語になっています。このように英熟語で検索をしたい時に特に便利な検索です。

この4つの検索テクニックは検索の基本です。Google Scholar以外の検索データベースにも応用して使うことができます。ぜひ使ってみてください。

それでは、ここでGoogle Scholarにアクセスして、先ほどの例題や自分なりのキーワードを入力して実際に検索してみましょう。フレーズ検索なども試してみてください。

6. いろいろな検索データベースの紹介(補足資料11から12枚目)

文献を検索できるデータベースは、Google Scholarだけではありません。データベースによって、日本語文献に強い、医学分野に強いなどの特徴があります。また使い方もそれぞれ特色があります。自分の研究テーマにとって一番使いやすいデータベースを探したり、データベースを使い分けたりすると検索力がアップします。これから、

- 筑波大学附属図書館が提供する検索サービス:Tulips Search
- 全分野の日本語論文データベース: CiNii Research
- 日本国内の医学分野の専門のデータベース: 医中誌Web
- 外国語医学論文データベース: PubMed

この4つのデータベースの特徴と、どんなことを調べるときに使うと便利なのかを説明します。

6-1. Tulips Search(チューリップスサーチ)(筑波大学附属図書館ホームページ)(補足資料13枚目)

Tulips Searchは、筑波大学附属図書館が提供する検索サービスです。筑波大学附属図書館の蔵書や、筑波大学が契約して提供しているオンラインで読める論文を一括して検索することができます。つまり、筑波大学所属者だからこそ読める論文を検索できます。筑波大学生にはぜひ使ってほしい検索データベースです。

Tulips Searchの特徴は以下の通りです。

- 学術論文を探すのに適している
- オンラインで読める論文を探すのに非常に適している
- 専門分野の論文を探すには少し不向き

長所:

- 図書館のIDとPWでログインすることで、自宅など学外からでも、筑波大学の中で利用する環境と同様に利用することができる
- 筑波大学が契約している電子ジャーナルで読める論文や、筑波大学の蔵書を一括して検索することができる

6-2. CiNii Research(サイニイ リサーチ)(日本語論文データベース)

(補足資料14枚目)

CiNii Researchは、国立情報学研究所が提供する、全分野の日本語論文データベースです。

CiNii Researchの特徴は以下の通りです。

- 学術論文を探すのに非常に適している
- オンラインで読める論文を探すのに適している
- 専門分野の論文を探すには少し不向き

長所:

- 日本国内で発行された学術雑誌に掲載された論文検索の定番
- オンラインで読める論文も多い

- 図書館のPC-Talkerで試した印象では、読み上げソフトでわりと読み上げできる

Google Scholar、Tulips Searchと比べてみると、学術論文を探すには非常に適しています。

6-3. 医学中央雑誌(医中誌 Web)(補足資料15枚目)

医学中央雑誌(医中誌Web)は日本国内の医学分野の専門のデータベースです。医学分野の日本語論文を探すならまずこれを使います。

医中誌Webの特徴は以下の通りです。

- 学術論文を探すのに非常に適している
- オンラインで読める論文を探すには少し不向き
- 専門分野の論文を探すのに非常に適している

長所:

- 日本国内で発行された医学及びその関連領域の膨大なデータを収録しているため、文献探索に非常に便利
- 筑波大学外からでもアクセス可能

短所:

- 文献情報はたくさん収録されているが、オンラインで読めるものは一部のみ

Google Scholar、Tulips Search、CiNii Researchと比較すると、

日本国内の医学分野という専門分野の論文を探すことには非常に適しています。

6-4. PubMed(パブメド)(外国語医学論文データベース)(補足資料16枚目)

PubMedは、世界の主要な医学系雑誌に掲載された文献情報を収集したデータベースです。アメリカの国費で運営されており、世界各地から無料で利用できます。英語で検索を行い、検索結果は英語で表示されます。

PubMedの特徴は以下の通りです。

- 学術論文を探すのに非常に適している
- オンラインで読める論文を探すには少し不向き
- 文献の主題・内容を表すキーワード“MeSH(メッシュ)”が整備されている

長所:

- 世界中の専門的な論文を幅広く検索することができる
- 筑波大学外からでもアクセス可能

短所:

- 文献情報はたくさん収録されているが、オンラインで読めるものは一部のみ

PubMedは、世界中の医学関連分野の論文を探すのに適しており、世界

最先端の研究論文を見つけることもできます。

以上、これからご紹介する4つのデータベースの特徴を簡単に説明しました。しかし、実は、これら4つとも、Google Scholarと同じく「本文を見つけることができない論文を図書館で読むことができるのかわからない」という短所があります。ただし、Google Scholarと違い、図書館のサイトを経由してアクセスすることで、この短所を補完することができます。

図書館Webサイトにログインしてからデータベースにアクセスすると、「Tulips Linker」という筑波大学生のための文献入手ポータルサイトと連携することができます。そのため、検索結果から「Tulips Linker」にとぶことで図書館での所蔵を調べることが可能になります。「Tulips Linker」について詳しくは後ほど説明します。

7. 検索データベースを使う

この項目では、Google Scholar以外の4つのデータベースをご紹介します。Tulips Search、CiNii Research、医中誌Web、PubMedです。

7-1. Tulips Search

7-1-1. Tulips Search へのアクセス(補足資料18 枚目)

理療科の方のためのページからアクセスできます。理療科の方のページ「目次」にある「Tulips Search」をクリックすると、ページ内ジャンプをして「Tulips Search」という文字リンクに飛びます。この「Tulips Search」を

クリックすると、サイトに移動します。

Tulips Searchを使う前にログインをしましょう。ログイン状態でなくてもTulips Searchは使えますが、筑波大学が契約する電子ジャーナルの論文が検索結果に出ないことがあります。また、先ほど説明した「Tulips Linker」との連携を行うためにも必要になりますので、ログインした方がより便利に利用できます。

Tulips Search画面の右上に、「Univ. Tsukuba Library」と書かれたテキストリンクがあります。これをクリックすると、附属図書館HPトップページに移動します。

附属図書館HPトップページ画面中段に青い帯に白文字で「ログイン項目」と書いてある見出しがあります。この下に「ログインする」という文字リンクがありますので、クリックしてください。「図書館Webサービスログイン」と書かれた画面に移動します。上には「学生、教職員の方」と書かれた紫色のボタン、下には「名誉教授、一部の研究員、筑波大学アソシエイト、学外者貸出利用証をお持ちの方」と書かれた青色のボタンがあります。理療科の皆さんの場合は、下の青色のボタンをクリックします。

画面上部に筑波大学校章、「筑波大学附属図書館」の文字のロゴ、「Tulips」のロゴが表示される、図書館認証システムの認証画面になります。ここで図書館のIDとパスワードを入力し、「Login」という青いボタンをクリックすると、ログインができます。

ログインをすると、附属図書館HPトップページに移動します。画面中央右側、切り替わる画像の隣に「Tulips Search」という検索窓があります。この検索窓にキーワードを入れると、Tulips Searchで検索ができます。

7-1-2. Tulips Search での検索(補足資料 19 から20 枚目)

(1) 附属図書館HPトップページの中央右側にある検索窓がTulips Searchです。検索窓に、論文のタイトル、テーマ、著者名などのキーワードを入力します。その後、検索窓の右にある虫メガネマークの検索ボタンをクリックします。

(2) 検索結果画面に移動します。完全な検索結果が表示されるまで、少し時間がかかる場合があります。

- 画面左上:Tulips Searchのロゴがあります。クリックするとTulips Searchの初期画面に移動します。
- 画面中央上部:Tulips Searchの検索窓です。トップページの検索窓でキーワードを入力した場合、入力内容がそのまま維持されています。
- 画面右上:言語設定を切り替えるプルダウンメニューです。日本語と英語で切り替えられます。
- 画面左:検索結果の論文の絞り込みフィルターです。「絞り込み」、「資料タイプ」、「発行年月日」、「分野」、「主題」、「本文言語」、「所蔵場所」といったフィルターを用いて、検索結果をほしいものだけに絞っていきます。
- 画面中央:Tulips Searchでヒットした論文の一覧です。各論文のタイトル、著者名、各種書誌事項が表示されます。

(3) 検索結果が多すぎる場合は、画面左の絞り込みメニューで検索範囲の絞り込みを行います。ここでは、「絞り込み」と書かれたエリアのチェックボックスに着目します。6つのチェックボックスがあります。

- 発見の可能性を広げる: 図書館が保有する情報資源以外も検索できます。最初の検索でヒットしなかった場合は、チェックを入れて検索対象を広げてみてください。
- 学術文献: 学術文献のみに限定して表示します。
- 学内の図書・雑誌: 筑波大学内にある図書と雑誌に掲載されている論文が表示されます。さらに細かく、5つの図書館ごとに検索する場合は、フィルターの最下部にある「所蔵場所」をクリックすると、各図書館のチェックボックスが選択肢として現れます。
- オープンアクセス: インターネット上で全文が無料公開されているオープンアクセスの論文が表示されます。パソコンの前ですぐに読める文献です。
- オンライン(本文あり): 図書館内にある論文、筑波大学が契約している電子ジャーナルの論文が表示されます。パソコンの前ですぐに読める文献です。ただし、電子ジャーナルは図書館IDとパスワードでログインする必要がある場合があります。
- 本文を検索対象に含める: 検索キーワードを、各書誌事項だけでなく、本文に適用して検索します。

(4) 検索結果一覧には、筑波大学が所蔵している、あるいは所蔵していませんがすぐに入手できる資料の場合、入手方法を示すボタンが表示されます。

- 所蔵・貸出状況の確認: 筑波大学附属図書館が所蔵している図書や雑誌です。「中央図書館」「大塚図書館」など、個別の図書館名とともに表

示されます。テキストリンクをクリックすると OPAC 画面に移動します。

- オンライン(本文あり):クリックするだけで本文が読める論文です。筑波大学が契約している電子ジャーナルや、インターネット上で全文が無料公開されているオープンアクセスの論文です。電子ジャーナルの場合は、ログイン状態であればPDFで読むことができます。
- 文献情報のみ:上記以外の図書や雑誌です。筑波大学が所蔵している雑誌に掲載されている論文である可能性もあります。ログインしている場合、テキストリンクをクリックすると「Tulips Linker」の画面に遷移し、さらに所在を調べたり、文献を取り寄せたりできます。

7-2. CiNii Research

7-2-1. CiNii Research へのアクセス(補足資料22から23枚目)

学内から利用する場合は、理療科の方のページからアクセスできます。理療科の方のページ「目次」にある「各種データベース」をクリックすると、項目に移動します。移動した先にある「CiNii Research(サイニー リサーチ)」をクリックすると、CiNii Researchのトップページが開きます。

学外から利用する場合は、リモートアクセスという手順を踏む必要があります。理療科の方のページ「目次」にある「データベース」をクリックし、「データベース一覧」をクリックします。データベースリストが開きます。このリスト

は附属図書館で契約しているデータベースと無料で利用できるデータベースを分野別にまとめています。「データベース一覧(分野順)」という文字の下に「全分野日本語」「医学・生物学」「教育・心理学」などの分野見出しが並んでおり、クリックするとページ内ジャンプをします。

「CiNii Research」は、「全分野日本語」の分野にあります。

「CiNii Research」の右側にある「R」ボタンをクリックすると、統一認証の認証画面になります。ただし、すでに統一認証を済ませている場合は表示されません。認証画面で図書館のIDとPWを入力すると、リモートアクセスを通じてCiNii Researchにアクセスしたことになります。

リモートアクセスを使うことで、筑波大学内からアクセスした時と同じ機能が利用できます。つまり、「Tulips Linker」を使うことができるのです。

CiNii Research以外のデータベースでも「R」ボタンがついているものは、同じようにリモートアクセスが利用できます。学外から利用するときは、「R」ボタンの有無に気をつけてみましょう。

なお、リモートアクセスをご利用の際は、VPN接続しているとうまくアクセスできない場合があるので、VPNを切ってからご利用ください。

7-2-2. CiNii Research での検索(補足資料23 から27 枚目)

まず画面の説明をします。

画面中央には、CiNii Researchのロゴがあります。その下にはキーワードを入力する欄、さらにその下には「すべて」「研究データ」「論文」「本」「博士論文」「プロジェクト」という検索対象を指定するタブがあります。初期設定

では「すべて」が選択されています。タブの右側には、「詳細検索」があります。

次に検索の方法について説明します。

まず、画面中央のキーワード入力欄の下にあるタブを「論文」に指定します。次に、キーワード入力欄にキーワードを入力し、Enterキーを押すか、[検索]ボタンをクリックしてください。条件を満たす論文の一覧が表示されます。

例えば、「足の冷えに対する鍼灸治療の一症例」というタイトルの論文を読みたいとします。検索対象のタブを「論文」に設定し、キーワード入力欄に「足の冷えに対する鍼灸治療の一症例」を入力して検索します。

検索結果は論文タイトルの部分がリンクになっています。このリンクをたどると該当する論文の詳細情報が表示されます。

詳細情報画面では論文名、著者名、掲載誌名などの論文情報を見ることができます。またこの画面にはいくつかのアイコンが表示されることがあります。

例えば、論文タイトルの下にある「機関リポジトリ」と書かれたオレンジ色の四角いアイコンが表示されている時は、オンライン上で論文を入手できる可能性が高いです。オレンジ色の四角いアイコンがあったらとりあえずクリックを試みてください。論文が入手できるページに移動します。ちなみにこのオレンジ色の四角いアイコンはすべての論文に表示されるわけではなく、ない論文もあります。

7-2-3. Tulips Linker(補足資料28 から 29 枚目)

オレンジ色の四角いアイコンの他にも、書誌事項の下にある「この論文を探す」の項目の中にいくつかアイコンが表示されています。その中に「Tulips Linker」があります。オレンジ色の四角いアイコンがない場合は、こちらをクリックしてみてください。

「Tulips Linker」では、CiNii Researchで検索した論文を筑波大学が契約している電子ジャーナルなどで見ることができないか探してくれます。電子ジャーナルでもヒットしない場合は、Tulips Linkerのページ下部に表示される「所蔵確認」「相互貸借(ILL)」「著者名検索」「文献情報管理」といった項目を見ます。ここで注目すべきは「所蔵確認」「相互貸借(ILL)」です。

まず「所蔵確認」の下にある「筑波大学附属図書館OPAC で所蔵を確認」で、検索した論文が掲載されている雑誌を図書館で所蔵していないかどうか確認しましょう。もし大塚図書館で探している雑誌があったら、書架に行って利用しましょう。

大塚図書館以外の筑波大学の図書館、あるいは筑波大学附属図書館で雑誌を持っていない場合は、論文コピーの取り寄せをすることができます。Webで他大学所蔵の論文コピーの取り寄せを依頼したい時は、「相互貸借(ILL)」を利用します。詳しい手順は次の項目で説明します。

7-2-4. Web で他大学所蔵の論文コピーの取り寄せを依頼したい時の操作手順概略(補足資料28 から32 枚目)

Webで他大学所蔵の論文コピーの取り寄せを依頼したい時の操作手順について、CiNii Researchでの検索結果を例にしてついて説明します。

- ① CiNii Researchの検索結果詳細画面にある「Tulips Linker」をクリックしてください。
- ② Tulips Linker画面が開きます。「相互貸借(ILL)」の下にある「文献複写申込(私費)を申し込む(有料)」をクリックすると、論文コピーの取り寄せの申し込み画面が開きます。
- ③ 申し込み画面では、基本的な情報は自動で入力されています。情報が不足している部分があったら、自分で補足して入力してください。そのほか、カラーコピーが必要か、速達にするか、図書館から自宅まで郵送してもらうか、受取希望館をどこにするかを選択します。カラーコピーや速達にした場合、自宅まで郵送してもらう場合には追加料金がかかるので気をつけてください。

この論文が読みたいがすぐに読めそうにないと感じたときは、Tulips Linkerのアイコンを探してクリックしてみてください。

それでは、実際にCiNii Researchにアクセスして検索をしてみましよう。検索結果画面にあるTulips Linkerアイコンも確認してみてください。

7-3. 医中誌 Web

7-3-1. 医中誌 Web へのアクセス(補足資料 33 から34 枚目)

学内から使う場合は、次の方法で接続します。理療科の方のページの「目次」にある「各種データベース」をクリックします。データベースの一覧に移動

します。一覧にある「医中誌Web」をクリックすると、医中誌Webの検索画面が開きます。

基本的に、医中誌Webの利用範囲は学内ネットワークからのみです。ただし、リモートアクセスを使うと学外からアクセスをすることができます。学外からアクセスしたいときは次の手続きを行ってください。

- ① 理療科の方のページ「目次」にある「データベース」をクリックし、「データベース一覧」をクリックします。
- ② データベース一覧で医中誌Webを探します。医中誌Webは「医学・生物学」分野に属しています。「データベース一覧(分野順)」の下にある「医学・生物学」をクリックして、該当部分にジャンプすると見つけやすいです。
- ③ 医中誌Webの右側に「R」ボタンがありますので、クリックしてください。リモートアクセスをします。
- ④ 医中誌Webの検索画面のページに移動します。

医中誌Webをご利用の際も、リモートアクセスはVPNを切ってからご利用ください。また、利用し終わったら必ず「ログアウト」をしてください。

7-3-2. 医中誌 Web での検索(補足資料35 から37 枚目)

まず検索画面の説明をします。

画面左側には「論文検索」など複数の検索画面項目が並んでいます。ログインした直後の初期設定では「論文検索」が選ばれた形になっています。

画面上部に、検索語入力欄があり、その右に検索ボタンがあります。キー

ワードなどを入力して検索ボタンをクリックすると、検索が始まります。

この検索語入力欄のすぐ左には検索対象を指定するためのプルダウンボタンがあります。クリックすると、「すべて検索」、「著者名」、「収録誌名」といった項目が並んでおり、いずれかを選択できるようになっています。最初は「すべて検索」が選ばれています。これは医中誌に収録されている論文データ中のすべての項目を検索対象としています。

画面下部には、「絞り込み条件」としてあらかじめ検索対象を限定するための条件が表示されています。条件のボタンをクリックすることで、抄録がある文献や原著論文に限定するといった絞り込みの設定ができます。

この他、画面の一番右上端の部分には、「HELP」のほか、医中誌ヘルプデスクへの「お問い合わせ」、終了するときをクリックする「ログアウト」などのアイコンが左から順に並んでいます。

次に検索方法について説明します。

基本は他のデータベースでの検索と同じです。画面上部の検索語入力欄にキーワードを入力します。そしてEnterキーを押すか、虫眼鏡のイラストが表示されているボタンをクリックしてください。条件を満たす論文の一覧が表示されます。

検索結果画面では、画面左に「絞り込み条件」、画面上部に検索語入力欄、その下に検索履歴とヒットした文献情報が表示されます。ヒットした文献情報には「Tulips Linker」のアイコンが表示されていますので、ここから論文コピー取り寄せの申し込みを行うことができます。

7-3-3. 医中誌 Web の便利な機能(補足資料39から42枚目)

医中誌Webには、医学分野の文献検索に適した様々な便利な機能があります。ここでは2つの特徴的な機能を紹介します。

- 統制語への自動案内

統制語とは、各文献の内容・テーマを表す統一的なキーワードです。医中誌Webではすべての論文にこのキーワードが付与されています。

医中誌Webは入力した単語による検索と同時に、この統制語による検索を自動的に行います。例えば、「子ども 鍼」というキーワードで検索をします。キーワードの言葉である「子ども 鍼」に加えて「小児」「鍼療法」という統制語でも検索が行われます。つまり、論文のタイトルなどに「子ども」や「鍼」といった言葉が入っていなくても、「小児」「鍼療法」という統制語が付与された論文を検索することができます。

この機能により、求める論文とは関係のない論文がヒットしにくくなり、ノイズや漏れの少ない検索を行うことができます。

検索時に実際にどのような統制語が使われたのかは、検索結果画面上部の、検索語入力欄の下に表示される検索履歴で確認することができます。

- 絞り込み検索

医中誌Webではこれまで紹介した他のデータベースにはない詳細な絞り込み検索を行うことができます。絞り込み条件は、検索語入力欄の下、もしくは検索結果画面の左にあり、「論文種類」「発行年」などの一般的な絞り込み条件のほかに、「小児」「成人」「高齢者」など論文で取り上げられている人

間のカテゴリを選択できる「チェックタグ」項目、症例報告・事例の「限定」または「除く」が指定できる項目などがあります。「絞り込み条件」の右にある、四角の中にななめ矢印が描かれた展開アイコンをクリックすると、より細かい絞り込み条件が表示されます。

それでは、ここで実際に医中誌Webにアクセスして検索を試みましょう。ここでも検索結果画面にあるTulips Linkerアイコンもクリックしてみてください。

医中誌Webの利用が終わったら、必ずログアウトをしてください。ログアウトボタンは、画面上部の右端にあります。

7-4. PubMed

7-4-1. PubMed へのアクセス(補足資料42 から43 枚目)

PubMedを学内から使う場合は、次の方法で接続します。理療科の方のページの「目次」にある「各種データベース」をクリックします。データベースの一覧に移動します。一覧にある「PubMed」をクリックすると、PubMedの検索画面が開きます。

また、PubMedも、リモートアクセスを使って学外からアクセスをすることができます。学外にいるときは、リモートアクセスを利用しましょう。次のように手続きします。

- ① 理療科の方のページ「目次」にある「各種データベース」をクリックし、「データベース一覧」をクリックします。
- ② データベース一覧でPubMedを探します。PubMedは「医学・生物学」分野に属しています。「データベース一覧(分野順)」の下にある「医学・生物学」をクリックして、該当部分にジャンプすると見つけやすいです。PubMedの右側に「R」ボタンがありますので、クリックしてください。リモートアクセスが行われ、PubMedの検索画面のページに移動します。PubMedにリモートアクセスするときも、必ずVPNを切ってからにしてください。

7-4-2. PubMedでの検索(補足資料45から46枚目)

まず検索画面の説明をします。

画面上部には、PubMedを運営するNational Library of Medicine、すなわちアメリカ国立医学図書館のロゴがあります。そのやや下にPubMedのロゴがあり、さらに下には検索語入力欄があります。検索語入力欄の右端は "Search" と書かれた検索ボタンがあります。検索語入力欄に気になる英語のキーワードを入力し、SearchボタンかEnterキーを押すと、検索が始まります。

検索結果一覧画面に移ります。

画面の左上にはPubMedのロゴ、画面上部には今回の検索に使ったキーワードが入力された検索語入力欄があります。入力欄の右端には、前の画面

と同じく "Search" と書かれた検索ボタンがあります。

検索語入力欄の下には、左から "Save", "Email", "Send to" と書かれた3つのボタンが並んでいます。Saveボタンは、検索結果をテキストファイルなどの形式で保存したいときにクリックします。Emailボタンは、検索結果を任意のメールアドレスに送信したいときにクリックします。Send toボタンは、検索結果をクリップボードに保存したり、RefWorksなどの文献管理ツールにインポートできる形式のファイルを作成したりしたいときにクリックします。3種類のボタンの操作は、検索結果一覧すべてを対象とすることも、チェックボックスにチェックを入れた文献のみを対象とすることも可能です。

Save, Email, Send to ボタンの並びから少し空いた右には "Sorted by: Best match Display options" と書かれています。この "Display options" のボタンを押すと、検索結果一覧の表示形式や表示方法を変更するメニューが開きます。

画面左側には、検索結果をさまざまな方法で絞り込むフィルターが用意されています。絞り込み検索については後ほど説明します。

画面右側に検索結果一覧が表示されています。初期設定では、論文ごとに、論文タイトル、著者、書誌情報、DOI、PMIDが表示されます。書誌情報とは、掲載雑誌の名前や出版年、巻号、掲載ページなどの情報です。DOIはインターネット上の電子データに割り当てられている論文のID、PMIDはPubMedが独自に各文献に割り当てているIDです。

いずれかの論文タイトルをクリックすると、その論文の詳しい情報を見ることができます。

論文タイトルをクリックした先の論文詳細情報画面では、画面中央の左側に、雑誌の詳細情報が表示されます。検索結果一覧画面で表示されていた論文タイトル、著者、書誌情報、DOI、PMIDのほか、Abstract、Similar articles(類似文献)、Cited by(この論文を引用している文献)、MeSH terms(メッシュ タームス)が表示されています。MeSHとは、PubMedが作成する医学分野のシソーラスで、その論文がどんなテーマについて書かれたものなのか一目でわかるものです。

PubMedは文献情報を収集したデータベースなので、実際に文献の本文を読むためには、さらに手順を踏む必要があります。この文献を読みたいと思ったら、画面の右側にある“Full Text Links”の項目を見ます。ここには電子ジャーナルのアイコンが並んでおり、クリックすると、提供元ホームページへ移動します。PDFのアイコンをクリックしてファイルが開いたらその場で本文を読むことができます。ただし、筑波大学が契約していない電子ジャーナルのアイコンが表示されることもあるため、必ず本文を入手できるとは限りません。

本文を入手できなかった場合は、“Tulips Linker”のアイコンをクリックすると、雑誌の所蔵を確認したり、論文コピー取り寄せの申し込みを行うことができます。

7-4-3. PubMedの便利な機能

PubMedには便利な機能があります。同じ医学分野の文献情報を検索できる医中誌Webに似ています。

- MeSH(メッシュ)

医中誌Webで統制語について説明しましたが、PubMedの統制語にあたるのがMeSHです。PubMedに掲載されているすべての論文には、このMeSHが付与されており、異なる単語を使ってもごく近い内容の論文を漏れなく検索することができます。

- 絞り込み検索

検索結果一覧画面の左側には、検索結果をさまざまな方法で絞り込むフィルターが設けられています。

フィルターが一番上にある "Results by Year" は、出版年別検索結果グラフです。グラフの横軸のマーカーを動かすことで、出版年の範囲を変更して絞り込むことができます。

二番目の "Publication date" では、「1 year」、「5 years」、「10years」など直近何年間の論文を表示するかを簡単に選択することができます。

三番目の "Text Availability" は、論文の可用性で絞り込みます。Abstract(要約)、Free full text(全文無料で閲覧できる論文)、Full text(有料・無料に限らず全文閲覧できる論文)の3種類のチェックボックスがあり、チェックボックスに入れた種類の論文だけを絞り込むことができます。

四番目には、"Article Attribute"、すなわち論文の属性で絞り込む項目があります。

五番目には、"Article type"、すなわち論文タイプで絞り込む項目があります。

さらに下にある”Additional filters” と書かれたボタンをクリックすると、さらに細かい設定のフィルターを追加することができます。さまざまに設定した絞り込みフィルターを解除したい場合は、最下段にある “Reset all filters” と書かれたボタンをクリックします。

8. 文献管理ソフト RefWorks(レフワークス)(補足資料46 から49 枚目)

論文や図書には、タイトル・著者名・出版年・出版者など、その論文や図書を特定するための資料そのものに関する情報が存在します。そのような文献情報をWebブラウザ上で管理できるツールが文献管理ソフトRefWorksです。RefWorksには次のようなメリットがあります。

- CiNii Researchや医中誌Webなどの各種データベースと連携しており、文献情報を直接データで取り込むことができる
- 学外からも使える
- 引用文献リストを一括で作成できる

RefWorksでは、取り込んだ文献情報データに基づいて、引用文献リストを自動で生成してくれます。例えば、CiNii Researchなどで検索した文献情報データを「ピリオド 著者名 ピリオド ピリオド 論文名 ピリオド カンマ 誌名 カンマ カンマ 出版年 カンマ 巻数 カンマ 号 カンマ はじめのハイフン ページ ハイフン おわりのページ ピリオド 」という書誌の書き方を指定し、順番をつけて引用文献リストにするといったことができます。

8-1. RefWorks へのアクセス(補足資料48 枚目)

理療科の方のページの「目次」にある「そのほか」をクリックして、

「文献管理ツールRefWorks」をクリックしてください。RefWorksについての説明ページが開きます。さらに、「こちらのリンクからRefWorksにアクセスしてください。」をクリックすると、RefWorksのトップページに移動します。

個人アカウントを持っていない人は、最初に個人アカウントを作成する必要があります。

- ① RefWorksトップ画面の中央に白い四角があります。「研究を簡単にRefWorksを使用するためにサインイン」とあります。最下部に「アカウントを作成する」という文字リンクがありますので、クリックしてください。
- ② 移動先のページは「RefWorksの使用を開始」という見出しから始まっており、文字入力欄があります。ここに筑波大学から発行された自分のメールアドレスを入力し、下部の「チェック」ボタンをクリックします。
- ③ 移動先のページで、半角英数字6文字以上のパスワードを決めて入力し、「サインアップ」ボタンをクリックします。
- ④ ③で入力したメールアドレスに、RefWorksからのメールが届きます。メールに記載されたURLをクリックします。
- ⑤ 新規アカウントの設定画面が開きます。名前と役職(Undergraduate Student または Graduate Student)を設定すれば、個人アカウントの初期設定は完了です。

RefWorksについての説明ページに、「アカウント作成について」という見出しがあります。こちらにRefWorksのアカウント作成方法について詳しく書いてありますので、参考にしてください。

登録手続きが難しい場合は、大塚図書館へご相談ください。

8-2. RefWorks にデータを取り込みたい時の操作手順概略(補足資料 49 枚目)

RefWorksへの論文データの取り込みは、各種データベースから同様の
手順で行うことができますが、今回はCiNii Researchを使って手順をご
説明します。

- ① あらかじめRefWorksの個人アカウントを作成し、ログインをしておきま
す。
- ② CiNii Researchで検索をし、詳細情報画面を開きます。画面右下に「書
き出し」というメニューがあります。一番上の「RefWorksに書き出し」を
クリックします。
- ③ 「エクスポート続行 RefWorks?」と書かれたサイトに移動した場合は、
その下にある「はい、RefWorksの最新バージョンにエクスポートします」
をクリックします。
- ④ RefWorksの画面に移動します。「レコードのインポート」画面です。ここ
でレコードを保存したいフォルダを指定できます。初めはフォルダがあり
ません。「+ フォルダを作成する」と書かれたボタンをクリックすると、新
しいフォルダの名前をつけて作成することができます。フォルダを指定し
てもしなくてもかまいませんが、「インポート」をクリックすると文献情報
がインポートされます。

インポートした文献情報から文献リストを作る方法は次の通りです。

参考文献リストに記載したい文献データのチェックボックスにチェックを入

れ、画面上部の「文献目録の作成」をクリックするとメニューが開きます。メニューの最上部にある「参考文献リストを作成」をクリックするとリストができます。

このとき、画面上部のプルダウンメニューで、参考文献リストのスタイルを選ぶことができます。研究分野や論文投稿先によって異なる参考文献リストのスタイルが用意されているので、授業や自分の書きたいレポートの分野によって選択しましょう。

生成された参考文献リストの右上にある「クリップボードにコピー」と書かれたボタンをクリックすると、文章に貼り付けることができます。

9. おわりに(補足資料50 から52 枚目)

今回紹介した検索方法はほんの一部です。また、今回紹介したデータベース以外にもいろいろなデータベースがあります。

論文の探し方やデータベースの使い方などをもっと知りたい方はお気軽に図書館カウンターへお声がけください。

理療科の方のページにある「データベース」の項目でも各データベースの使い方の案内を掲載しています。また、操作が難しい方は図書館職員がお手伝いしますので、遠慮なくカウンターへご相談ください。メールや電話でも受け付けております。

連絡先:03-3942-6818

e-mail: ill-otsuka@tulips.tsukuba.ac.jp